

# 送 辞

空を飛び交う小鳥のさえずり、  
暖かい春の光、今にも開  
こうとしている花のつばみ

卒業生の皆様ご卒業おめでとう

でようございます。様々な思い  
考え、目標を持ってご入学され  
最終的には一人を癒してあげ

たいし、体の不具合を楽にして  
あげたいし、という願いで頑張つて  
こられた仲間と共に本日ご卒業

も知えられたお姿は、とても頼もしく、また羨ましく思います。

私が学院に入学した当時の  
先輩方は、意気揚々として、輝  
やかにして、日々の学科や実技等  
に取り組む姿勢にも「信頼され  
る療術師になる」という「意気  
どみ」と感に取ることができました。  
その姿に、圧倒されたことと

覚えています。

学院には、幅広い年齢層の  
方が学んでいます。私が実技の

授業で、実技の手順や要領が  
悪く悩んでいると、先輩が私に  
こう話—をしてくださいました。

「焦るなコンパニ—して、積み重ねて  
コンパニ—自分にも出来ると思っ  
たら」とアドバイスをいただいた。

ほ—た。コンパニ—に「確実に効果を  
出せる。納得して頂ける。手技  
療法を身にコンパニ—するたぎに、日々

努力を—してコンパニ—で「お話を  
—してくださいました。コンパニ—熱い思っ  
が伝わ—てきました。それからの

私は授業への取り組み姿勢が  
に変化が表れようになった。絶体  
上達するぞと。

在校生も卒業生の後に  
続く者として一層の努力と  
技術向上を目指し頑張る

覚悟であります。

西洋医学だけでは解決できない  
部分が東洋医学分野には

沃山あると思っております。首  
肩腰の痛み、骨格の歪み  
など頭から足先まで「気血」

素問には「百病は氣より生ず」と書かれています。

医療分野の一端を担う  
療術師として皆様の修得  
された療術テクニックを駆使  
されお客様がらとりでも

多く癒されることを切望いたし  
ます。

皆様への新たなヘルスケアの場を  
広げたいという思いで、お時間  
があまりありませんが、学院にお越し  
頂き、ご指導いただければ幸いです。

これからは生活環境も変わる  
事と思いますが健康にゾ留意  
され充実された日々を送る  
おめでとう祈り送る言葉  
とさせていただきます。

令和六年三月二日

在校生代表